

朝鮮半島情勢と北朝鮮経済

ERINA調査研究部

三村光弘

本日の発表内容

- 金正恩体制下の北朝鮮社会の変化(その内容と性質)
- 経済政策の変化と方向性
- 指導者としての金正恩第1書記
- 現在の情勢と北朝鮮の経済

金正恩体制下の北朝鮮社会の変化

- 平壤市内での高層住宅の建設、遊園地や食堂、商店、スーパーマーケットなど住民便宜施設の開店
- 「牡丹峰楽団」公演での、ディズニー映画のテーマ音楽の演奏やキャラクターの演出
- 各種行事等に夫人を同伴
- 国民生活の向上を重視する政策
- 衛星打ち上げや核実験など、より好戦的かつ国際社会に対する公然たる挑戦

変化の内容・性質

- 国民(特に平壤市民)に経済成長、生活向上の期待を持たせる宣伝
- 若い世代に「クールなライフスタイル」をある程度認めるなど、開明的な印象を与える
- コストのかかる変化はあまりなく、期待先行
- 金正日総書記の「遺訓」を重視

経済政策の変化

- 重工業を中心として、軽工業と農業を同時に発展させる大方針に変更なし
 - ただし、軽工業と農業の重要性はかなり高まる
 - 情報技術(IT)やナノテク、宇宙技術等の先端産業重視、コンピュータ数値制御(CNC)やファクトリーオートメーション(FA)の積極的導入＝「新世紀産業革命」→「知識経済型強国建設」へと定式化
- 「改革」「開放」という言葉は使わない

経済政策の変化

- 経済改革(経済管理改善)の方向性
 - いわゆる「6・28方針」という文書はない
 - 内閣に経済管理改善のためのタスクフォースを設け、検討。相当に踏み込んだ議論を行う
 - 2013年から全国的に「分組」の単位を4人前後に縮小(実質家族農化)収穫量を国家と協同農場で7:3で分配する「生産物分配割当制」も導入
 - 国営企業の独立採算制の強化と経営自主権、それに伴う責任の強化→「大安の事業体系」見直し

経済政策の方向性

- 最高人民会議第12期第6回会議(9/25)
 - 義務教育(小学校)の1年延長と中学校の初級中学校と高級中学校への改組
- 朝鮮労働党中央委員会2013年3月全員会議
 - 経済建設と核武力建設の並進路線
- 最高人民会議第12期第7回会議(2013/4/1)
 - 朴奉珠・党軽工業部部長が首相に任命(2003年9月から2007年4月まで首相、その後更迭)

指導者としての金正恩第1書記

- 各種会議への出席・演説
 - 金日成主席生誕100周年記念閲兵式(4/15)
 - 朝鮮少年団創立66周年記念大会(6/6)
 - 金日成軍事総合大学創立60周年記念銅像除幕式(10/29)
 - 「光明星3号2号機」発射成功記念宴会(12/21)
 - 新年の辞(2013/1/1)
 - 朝鮮労働党細胞秘書会議(1/29)

指導者としての金正恩第1書記

- 「情報公開」「透明性」の拡大
 - ロケット発射時の失敗報道(4/13)
 - 党や国家の会議の内容報道が充実
- 国民生活向上への高い関心
 - 高層アパート住民世帯のサプライズ訪問(9/4)

現在の情勢と北朝鮮の経済

- 「核抑止力」への依存
 - 「国防費を追加的に増やさずとも戦争抑止力と防衛力の効果を決定的に高める経済建設と人民生活向上に力を集中させられるようにするところにある」(3/31党中央委員会全員会議)
- 朝鮮半島の危機はだれが起こしたのか
 - 日米韓: 北朝鮮の挑発行動
 - 北朝鮮: 3/11-21「キーリゾルブ」米韓合同演習、3/1-4/30「トクスリ」韓米野外戦術機動訓練などの挑発に対抗したもの

現在の情勢と北朝鮮の経済

- 米国も韓国も北朝鮮との全面戦争が起こると思っていない
 - 「緊張した情勢」は誇大
- 北朝鮮も自ら戦争を仕掛けようとは思っていない
 - 平壤はすでに4月15日の準備で忙しい
- 5月以降、新たな動きが出てくる可能性